
第 141 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2007 年 3 月 13 日(火) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 石原 裕一 氏 (愛知学院大学歯学部歯科保存学第 3 講座・講師)

タイトル: **タイプ 2 インターロイキン-1 レセプターの歯周病との関連**

歯周病は歯周病関連細菌感染に伴う局所の炎症性骨破壊により、歯を喪失する疾患であることが知られており、その炎症性骨破壊にインターロイキン-1(IL-1)が深く関与していることが報告されている。したがって、IL-1の局所での活性調節について調べることは歯周病の発症や進行のメカニズムを知る上で非常に重要であると考えられる。

IL-1の標的細胞には2種類のレセプターが存在することが知られており、タイプ-1 IL-1レセプター(IL-1RI)は細胞内へシグナルを伝達するのに対し、タイプ-2 IL-1レセプター(IL-1R₂)は細胞内ドメインが極めて短いためにシグナルは伝達されない。また、IL-1R₂は細胞膜上から切り離され、可溶性IL-1R₂(sIL-1R₂)としてIL-1に結合しIL-1の活性を抑制していることが知られている。

そこで演者らのグループでは、歯周病とIL-1R₂の関わりについて、臨床的に歯周組織局所を反映するGCF中でのIL-1とIL-1R₂動態と遺伝的関与の可能性についてIL-1R₂を候補遺伝子として、健常者と歯周病患者の間で相関解析を行ったところ興味ある結果が得られましたので、今回お話をさせていただきます。

担当:硬組織疾患制御再建学講座 宇田川信之